

手もとりあて

人生優先



施設の中庭に咲く
小さな紫陽花

新緑の美しさの後、紫陽花のみずみずしさを通り過ぎ、暑い夏を迎えていく中、特養では、この短期間に多くの方の最後を目的にしたりしました。看取りそのものや、告別の時を重なる度に、今のお年寄りの方々にとつて、特養での日々の生活が、その方の長い人生史において、豊かなものになるようにと願うばかりです。任命に関わることを得ない私たちの福祉の仕事は、その中身は生活に関わる事がほとんどです。一方で、医療に関する判断や処置も求められており、特養に求められる社会的要求は、高くなっていく傾向にあり、機能以上になる事もあります。

人生を締めくくるその方にとっては、多種多様な受入場所が選択できるようになることも必要になってきています。ことを実感します。施設のやり方に合わせるのではなく、その方の生き方や、思いが尊重され、優先されるのが理想のあり方です。その意味において、利用者本位とは、日々の実生活において、毎日その方が幸せだと実感できていること、もしくは、心地よい表情をされていることであると思います。そのために、適切な場所、適切な介護・医療を受けられることが大切だと思います。その場所がキングスガーデンであるならば、小さなことを積み上げ、その方の人生に関わる喜びを毎日実感していきたいと願っています。

六月のボランティアと実習生

山田国昭様 矢花光様 白馬忠雄様 牧野和子様 山田千恵様
佐藤ゆり子様 風見とみ子様 大塚清枝様
筑波研究学園専門学校実習生 藤代聖書教会ボランティアの皆様
筑波パプテス教会ボランティアの皆様
松戸福音教会ボランティアの皆様



(NO.360)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

ぬくもり



阿久津敦子様 (長女)

母、町子は旧岩瀬町で酒店を営む両親のもと十三人兄弟の九番目、八女として生まれました。戦争の最後の頃は、女子挺身隊として日立の工場で働きました。戦後、岩瀬の実家で洋裁の仕事をしました。三十歳になる頃、天壽道で牧師の紹介で三人の男の子を抱えて妻を亡くした父、不二と結婚しました。結婚と同時に母となり、父の仕事を助け早朝のヤクルト配達をして生活を支えながら、私と弟を産み育ててくれました。貧しい生活でしたが、宝は天に積んでいく、といった明るい笑顔の母でした。

平成十一年、ヤクルト配達中の父が交通事故で天に召された時も、自身が乳がんになった時も主に支えられ乗り越えてきました。三年前に兄がすい臓がんで亡くなった後も静かに折りついていました。そんな母は今、認知症で足も不自由になってしまいましたが愛する主の恵みに満ちているのキングスガーデンで過ごせることを感謝していることと思います。皆様、これからよろしくお願ひいたします。

サマーフェスティバル

日時 八月十日(金)
十七時～十九時半
場所 ふれあいの社
ロータリー
★たくさんの方による
職員・利用者による
ステージ発表あり
★レインボーミュージック
ジャズによる
本格的な歌と演奏
皆様の来場を心より
お待ちしております！



場所 常総ふれあいの社 ロータリー
※筑波キングス・ガーデン 常総・ウチノス 常総・常総グループホーム
※常総ふれあいの社・常総市常総センターのすぐそば

花の日ドライブ&あやめ見学

六月六日にご利用者4名を連れ、花の日ドライブ&あやめ見学の為、外出を致しました。先ずは、日頃よりお世話になっている近隣の施設、のぞみヶ丘診療所、菅原郵便局、消防署北出張所、大生屋（感謝を込めてお花を届けました。届け先ではご利用者一人一人が、笑顔で「つもありがどう」と言ってお花を渡し、その姿を見て誇らしく思いました。その後は昼食を食べ、守谷のはま寿司へ行きました。はま寿司では日頃、キングスガーデンでの食事では垣間見れない、食べたいネタを選択するという光景を目にした時に、安全な食事は勿論大切であるが、時には食べたい物を選んで食べて頂く事も大切であると、利用者の表情や行動からとても感じる事が出来ました。自分で選んだネタを、美味い」と笑顔で頬張る姿は、とても幸福感で溢れて、満ち足りている様子でした。最後のあやめ見学は生憎の雨模様だった為、車中からの見学のみとなりましたが、雨に濡れたあやめも風情があり、梅雨特有の季節感を堪能したと思います。

今回の外出を通じ、私自身も選択する事の重要性に改めて気付かせて頂く良い機会となりました。今後の外出や施設での生活の中でも、安全を保ちつつご利用者が選択出来る機会を増やしていける様、頑張つて参りたいです。



日頃の感謝を花に添えて

特養ブログ紹介

筑波キングス・ガーデン公式ホームページより特養ブログを始めました。ご利用者の日々の様子や、一年間の行事内容等を掲載しています。パソコン、スマートフォン、携帯からアクセスできます。

野菜作りのご様子です



特養の活動を紹介します！



暑い日が続いております。こまめに水分補給し、熱中症予防に努めていきましょう。

編集後記
暑い日が続いております。こまめに水分補給し、熱中症予防に努めていきましょう。
（ヘルパー 倉持友・阿部）

相談員日誌
「覚悟」
宮本 真次
相談員としての日々の働きの中には予想だにしない様々な出来事や問題が生じる。そういった場合、必ず一番シビアな状況を想定する。それは決してネガティブな思考からではない。一番シビアな状況を想定することで、その後何が起きても、事態がどう転んでもそれを受け止める覚悟を持つ。為の決心を固める作業としてである。そうすることで自己の感情の浮き沈みを可能な限り少なくし、何があっても動じぬ様、メンタルを一定に保っている。日々、強い気持ちと覚悟を持って、自分の持てる力を最大限活かせる働きが出来ればと模索する日々である。勝つとしても、負けなければ、強い気持ちをおかされていけば、技術を生かすことが出来る。サッカー日本代表 長谷部誠

七月お誕生日

中島とめ様 大正十年七月十五日九十七歳

スタッフが安心して働ける職場に
理事長兼総合施設長 宇都宮和子
応接室のドアを開けておくとご利用者やスタッフの楽しそうな会話が聞こえてくる。特に夕方四時を過ぎるとサービスの方々の方が帰る時間。また明日ね！一日二十五名から三十名の方々が声を掛けながら廊下を通り過ぎていく。職員が活き活きと声をかけ、さわやかに活動している姿にこちらまで嬉しくなる。本当に感謝です。職員が安心して輝き働いて頂くために、スタッフは何を求めているのか。二百十八名のアンケートには事業所内託児所と趣味活動とありました。現在、ファミリーホームの一階を託児所と思いい、市、県と相談しながら進めています。同時に看護師、保育士、調理師等、最後は人が大切になります。夜勤をして下さるヘルパーさんも安心して子育てが出来る職場にして行きたい。何もできないのに夢だけは大切に日々、折りつつ前進です。主に感謝しつつ。。。

ジャズミン理美容サービス
詩遊び
聖歌式
七ツフレッシュダンス
書道クラブ
大生屋販売
矢花さんレクリエーション
音楽と聖歌クラブ
リネデン理美容サービス
スイカ割り
花火
聖歌式
詩遊び
ジャズミン理美容サービス
書道クラブ
大生屋販売
矢花さんレクリエーション
音楽と聖歌クラブ
リネデン理美容サービス
スイカ割り
梨狩り
防災訓練